

「延世大学校スプリングスクール参加報告書」

京都大学法学部1年 成宮里美

2017年3月5日から25日までの3週間、延世大学校でのスプリングスクールに参加させていただきました。

韓国ドラマが好きでしたが、韓国は日本よりも激しい学歴社会で兵役制度もあり、歴史認識や領土問題でも対立しているため、「近くて遠い国」というイメージが拭えず、実際に韓国に行って自分の目で見てみたいと思い、応募することにしました。

平日はお昼ごろまで語学堂で行われる韓国語の授業を受けていました。語学堂は世界中から韓国語を学びに来た留学生が勉強するところで、私はインドネシア・イラン・ロシア・フィリピン・ブラジル・台湾・香港・日本から来た人たちと同じクラスで授業を受けていました。授業では基本的な発音や挨拶、日常生活でよく使う会話を中心に勉強していましたが、韓国語に関する話だけではなく、他の留学生の母国の話や韓国に来た理由を聞くことができ、とても面白かったです。また、延世大学校でアジア学を専攻している方々と京都大学との合同セミナーがあり、互いに事前に送っておいた質問に答える形で、私たちは韓国語、アジア学のみなさんは英語で、プレゼンテーションを行いました。あちらの大学の行事や学歴社会であることについて、また韓国が日本に占領されていたことや、北朝鮮に対する彼らの考えを聞いたことは、貴重な経験でした。

放課後や週末には、ソウルのあちこちに出かけました。日本語を学んでいるあちらの大学生1人と京大生2人でグループになって言語交換を行うプログラムがあり、一緒に韓服を着て景福宮へ行ったり、ごはんを食べたり、大学を案内してもらったり、スーパーでおいしいお菓子を教えてもらったりしました。歩きながら私たちが知らないことをたくさん教えてもらえ、自分たちで観光するのとは違った貴重な時間を過ごすことができました。

初めて韓国に行って、あちらでできた友達と過ごしたり、自分たちで観光したりするなかで、今のありのままの韓国を知ることができて、本当に多くのことを得ました。こんなに近い国なのに、全然違うことがたくさんあり、地理的な距離よりも、国が違うということの重みを強く感じました。学んできた韓国語に囲まれる生活で、実際にあちらの人と韓国語を使って話す時間は本当に楽しいものでした。合同セミナーや言語交換プログラムで出会った延世の人たちとは今でも交流が続いています。連絡を取り合うなかで韓国語が上達していくのを感じられ、とても嬉しいです。このスプリングスクールに参加して、韓国のことをもっと知りたくなり、出会った人たちともっと上手い韓国語で会話したいと思うようになりました。本当に貴重な経験をすることができました。このプログラムを支えてくださった京都大学・延世大学校の先生方、韓国で出会い一緒に楽しい時間を過ごしてくれた人たちに心から感謝しています。